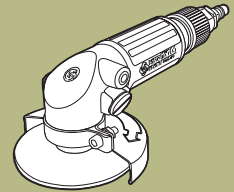


日東工器株式会社

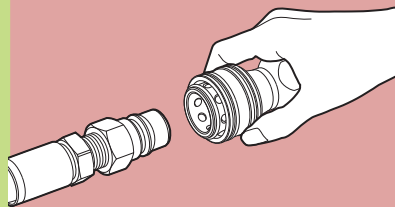
**第56期 中間期
株主通信**

(2011年4月1日～2011年9月30日)

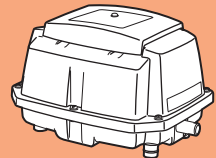
TOOLS



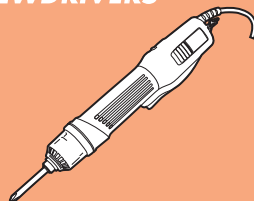
COUPLINGS



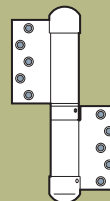
LINEAR PUMPS



**ELECTRIC
SCREWDRIVERS**



DOOR CLOSERS



目 次

- 2 トップメッセージ
- 3 連結決算ハイライト
- 5 事業別の概況
- 7 新製品ニュース
- 9 トピックス
- 10 グループ会社の状況
- 11 決算概要
- 13 日東工器グループ
- 14 会社情報・株式情報

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より弊社に格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

この度の東日本大震災により被災された皆さまに、心よりのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

2011年11月4日に発表した第56期第2四半期連結累計期間（2011年4月1日～9月30日）決算と事業概況についてご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く環境は、急激な円高や株安、海外景気の不安など厳しい状況にありますが、業績は全体として回復基調で推移しました。売上高、営業利益、純利益とも前年度同期間と比べて大幅な改善となり、2011年5月10日に公表した業績予想および配当予想を8月4日に上方修正いたしました。これは、当社グループが大震災で被災した工場建屋・設備を修復、いち早く生産再開を果たしたことにより、想定を上回る自動車を始めとした製造業からの迅速流体継手や機械工具の引合いに積極的に対応したことによるものです。

配当金につきましては、当社は連結配当性向30%を目処に、安定的な配当の継続を基本としております。この配当方針に基づき業績予想修正値を勧案し、2012年3月期の中間配当を1株16円と修正（増配）いたしました。

日本経済は、東日本大震災後の停滞から脱して回復を続けており、足元の景況感は大きく好転しています。その一方で、海外景気の変調が新たな不安材料として浮上していますが、自動車の大増産や復興需要に牽引されて、わが国景気は底堅く推移すると思われれます。このように世界経済に不安を抱える経営環境ですが、当社は最先端・高品質な新製品開発を加速させ、よりお客様に近いところの営業活動を志向することにより、企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

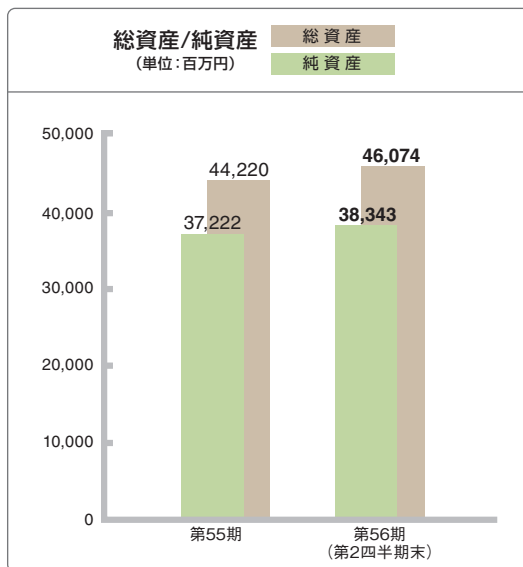
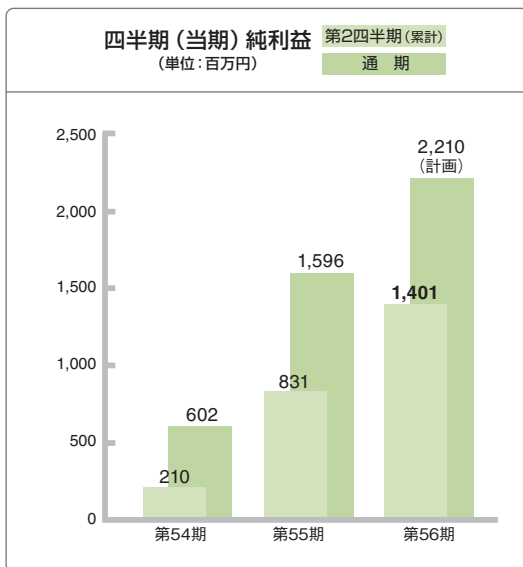
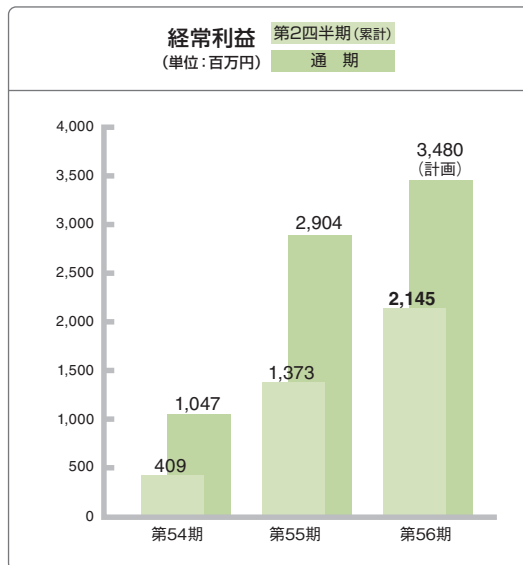
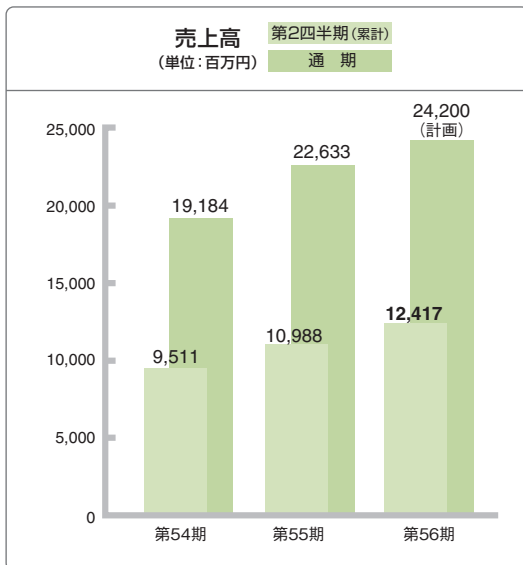
2011年12月



創業者・代表取締役会長
御器谷 俊雄



代表取締役社長
小武 尚之



第56期第2四半期連結累計期間（2011年4月1日～9月30日）の日本経済は、サプライチェーンの復旧が急ピッチに進み、大震災直後の落ち込みから脱して回復の動きが続きました。公共工事など仕事量の増加、底堅い設備投資、生産活動再開の本格化と輸出増加などによって、景況感は震災直後と比べて大きく改善しました。その一方で、急激な円高による企業業績への悪影響、海外景気の減速などが不安材料として浮上しています。しかし、自動車の大増産や復旧・復興需要の本格化によって、わが国の景気は今後も堅調な回復を持続すると思われる。

全体の概況

自動車など製造業が予想以上のペースで生産を回復し、輸出の増加とも相まって、迅速流体継手や機械工具の引合いが想定を上回るレベルで推移しました。当社グループは大震災で被災した生産設備を修復、いち早く生産を再開して需要に対応するとともに、経費削減による原価低減を継続的に進めてきました。

また第1四半期の業績動向を踏まえて、2011年8月4日に第2四半期連結累計期間と2012年3月期の業績予想を上方修正しました。今後につきましても、復興需要の本格化により各事業とも堅調な業績で推移すると見込んでいます。一方、10月のタイ国における豪雨と洪水により、NITTO KOHKI (THAILAND)社、NITTO KOHKI COUPLING (THAILAND)社の生産設備の一部に被害があり、日東工器グループ全体の生産計画に影響を及ぼしています。なお、急激な円高により想定為替レートを1米ドル＝77.50円、1英ポンド＝125円に変更しましたが、その他通貨の想定為替レートは見直していません。

業績の概況

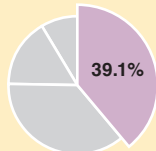
当第2四半期連結累計期間における売上高は124億17百万円となり、前年同期と比較すると13.0%の増収となりました。営業利益は21億16百万円となり、前年同期比58.1%の増益となりました。経常利益は21億45百万円となり、前年同期比56.3%の増益となりました。当四半期純利益は14億1百万円で、前年同期比70.4%の増益となりました。

売上高	12,417 百万円 (前年同期比 +13.0%)
営業利益	2,116 百万円 (前年同期比 +58.1%)
経常利益	2,145 百万円 (前年同期比 +56.3%)
四半期純利益	1,401 百万円 (前年同期比 +70.4%)

「迅速流体継手」事業

迅速流体継手「カプラ」は、空気・ガス・水・油・薬剤といった流体の配管を素早く、確実に接続・切り離しできる世界のトップブランド製品です。家庭用から各種の産業機器・機械、スパコンや航空・宇宙などの先端機器まで幅広く使用されており、当社は約25,000種類もの製品群を擁しています。生産は栃木日東工器とタイのNITTO KOHKI COUPLING (THAILAND)で行っています。

国内市場は、自動車産業の浮上によって引合いが活発になり、特別注文品の受注も拡大し、製造業全体の底堅い設備投資も相まって需要が順調に回復しました。海外市場では、自動車や空調機器などの設備投資需要が堅調でした。その結果として、売上高は48億52百万円（前年同期比12.3%の増収）となりました。売り上げの大幅な増加により、営業利益は9億38百万円（同67.9%の増益）となりました。



《売上高比率》

■部門売上高（連結）

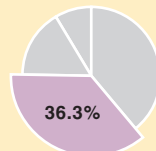
第2四半期（累計） 通期
（単位：百万円）

期	第2四半期（累計）	通期
第56期	4,852	9,620（計画）
第55期	4,322	8,901
第54期	3,192	6,686

「機械工具」事業

当社の機械工具は、鋼材の穴あけ、切断、研磨、剥離など金属加工の様々な現場で使用され、卓越した性能と使い勝手の良さを誇っています。ねじ締め作業用電動ドライバー「デルボ」は、高精度のトルク管理を実現した信頼のブランドです。生産はメドテック、白河日東工器、韓国の日東工器—美進、豪州NITTO KOHKI AUSTRALIA MFG.、英国 UNIVERSAL DRILLING & CUTTING EQUIPMENTで行っています。

国内市場は、建設・土木などの鉄骨加工用の工具と刃物の需要が好転してきました。海外市場では、円高の影響を受けながらも、橋梁などに使う工具と刃物の需要が増えました。その結果として、売上高は45億10百万円（前年同期比15.6%の増収）となりました。売り上げの増加と原価率の低減に努めたことにより、営業利益は7億8百万円（同73.9%の増益）となりました。



《売上高比率》

■部門売上高（連結）

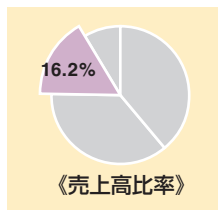
第2四半期（累計） 通期
（単位：百万円）

期	第2四半期（累計）	通期
第56期	4,510	8,640（計画）
第55期	3,901	8,141
第54期	3,867	7,449

「リニア駆動ポンプ」事業

リニア駆動ポンプは当社が世界で初めて実用化した製品で、クリーンな空気源が求められる製薬分野や医療機器向けなどに最適です。他にも、電磁ダイアフラムやDC駆動など、各種真空ポンプ・コンプレッサをラインアップしています。また、これら技術を応用した医療・家庭用エアマッサージ器といったユニークな製品も生まれています。生産は栃木日東工器、タイのNITTO KOHKI (THAILAND)で行っています。

国内市場は、浄化槽用ブロワと健康機器向けの好調な売りに支えられました。海外市場では、医療機器組込み用コンプレッサの需要減少もあり、全体として売上高は20億16百万円（前年同期比9.6%の増収）となりました。利益面では経費削減効果によって、営業利益は4億9百万円（同19.4%の増益）となりました。



■部門売上高（連結）

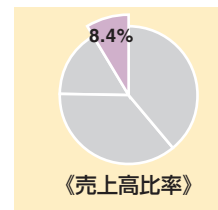
第2四半期（累計） 通期
（単位：百万円）

第56期	2,016	3,820（計画）
第55期	1,840	3,704
第54期	1,578	3,296

「建築機器」事業

油圧とスプリングにより、ドアを静かに安全に閉めるドアクローザ。当社のブランド「オートヒンジ」には、開き戸用と引き戸用の2タイプがあります。いずれも取り付けが容易で軽量・コンパクト、デザイン性に優れているのが特徴で、最近ではバリアフリー重視から引き戸用ドアクローザが増えています。生産は白河日東工器で行っています。

国内市場は、依然として建設投資が低迷している中で、主力の中心吊りオートヒンジが好調を維持し、引き戸用クローザも健闘しました。海外市場もまだ小規模ながら販売が伸びたことによって、売上高は10億37百万円（前年同期比12.3%の増収）となりました。利益面では、厳しい価格競争の中で経費削減に努め、営業利益は58百万円（同104.3%の増益）となりました。



■部門売上高（連結）

第2四半期（累計） 通期
（単位：百万円）

第56期	1,037	2,120（計画）
第55期	923	1,886
第54期	873	1,752

COUPLING

接続状態でバルブの開閉操作ができる

「TSPカプラ ボールバルブ付」



TSPカプラシリーズに、ボールバルブ付が加わりました。バルブレス構造の「TSPカプラ」のソケットとボールバルブを一体化したカプラで、接続状態でもバルブの開閉操作が可能です。本体材質は真ちゅうで、水・空気・油などの流体に適用できます。カプラサイズ5種類をラインアップし、幅広いニーズに対応しています。

主な特徴は、(1)標準品TSPカプラに市販のボールバルブを取り付けた場合と比べ、全長が約30%短いコンパクト設計なので、狭い箇所での取り付けが可能(2)ボールバルブが開いている時はスリーブがロックされており、不意な離脱を防止するため安全(3)ボールバルブなので流路が全開口となり、大流量を確保するとともに粘度が高い流体(グリースなど)にも適している——など。

MACHINE & TOOL

狭小部の面取り加工が可能に

サーキットベベラー「CB-01」



機械加工品、金型などの穴・曲線・直線を面取り加工するための空気式曲線面取り機です。市場のニーズに応え小型化することで、既存のベベラーでは不可能だった狭小部での作業が可能になりました。また、本体重量が0.5kgと超軽量で、片手での操作が容易にできるようになり、作業で優れた操作性を発揮します。

主な特徴は、(1)2枚刃の採用により、作業のスピードアップ化と加工面の滑らかな仕上がりを実現(2)長寿命チップの採用で、ランニングコストを低減(3)小型・軽量化により作業性が向上(4)省エネに配慮した高効率モータにより、高出力でありながら空気消費量が減少(5)新材質ブレードの採用でモータの寿命が長く、メンテナンス効率もアップ——など。

ELECTRIC SCREWDRIVER

締付けの省力化、無人化を実現

自動機専用電動ドライバ
「DLV30/45/70シリーズ」



自動生産に特化したブラシレスモータ採用のデルボ・自動機専用電動ドライバ「DLV30/45/70シリーズ」を商品化しました。ドライバはXYロボットに搭載可能で、自動締付けにより省力化、無人化を実現できます。シーケンサからの信号入力により、起動・正転・逆転を制御する仕組みで、適正トルクで締付けが完了するとドライバが信号を出力します。

主な特徴は、(1)ブラシレスモータの採用で寿命が長く、ブラシ交換も不要(2)各入出力信号は、ドライバ内部回路とフォトカプラによって電氣的に絶縁している安全重視の設計で、ノイズ対策も万全(3)ドライバの固定方法は、フランジ・ねじ・フレーム固定の3タイプから選択可能(4)最小0.4N・mから最大7.0N・mの幅広いトルク帯に対応——など。

PUMP

省エネ・静音化・高耐久性

リニアコンプレッサ「DAH110」



直流電源に対応した定格圧力0.1MPa、吐出空気量1.0L/分のコンプレッサを商品化し、一連のDC駆動リニアコンプレッサのシリーズ化を完了しました。当社独自のリニア駆動フリーピストン方式を直流電源に対応させたことにより、高圧力・長寿命・低作動音・オイルレスでメンテナンスが容易という特徴をそのままに、機器への組込み性が向上しました。駆動電源は直流12Vと24Vに対応、医療・検査・化学機器などの空気供給源として活用できます。

主な特徴は、(1)直流電源に対応するリニア駆動フリーピストン方式の採用により、高圧でありながら長寿命化を実現(2)従来機種より消費電力を45%低減(当社比)(3)コンパクトでありながら最高圧力が0.12MPaと高く、連続運転も可能(4)40dB以下の静音性——など。

DOOR CLOSER

100万回開閉の耐久性を誇る

常閉防火引戸用クローザシリーズ
「NSC-C48/C1215/C2525F」



防火用引戸は、防火区画や防火壁、避難階段出入口などの開口部に使用され、火災発生時に火災の拡大を防止する特定防火設備です。「常閉防火引戸用クローザ」は、特定防火設備に適用できるだけでなく、常時開閉する扉用としても使用可能であり、大変幅広い種類の扉に対応できる商品です。

主な特徴は、(1)通常使用時の開閉が静かであり、業界初の耐久100万回を実現(2)火災発生後でも扉の開閉が可能な機能(特許出願中)を備えており、安全性が一段と向上(3)傾斜式4機種、水平式6機種があり、扉質量は最大扉幅2,500mm以下、250kgまでに対応(4)左右の開き勝手兼用タイプとなっているため、開き勝手を気にせず使用できる——など。

新本社・研究所が 2011年度グッドデザイン賞を受賞

日東工器の新本社・研究所が「2011年度グッドデザイン賞」を受賞しました。設計・施工を担当した(株)竹中工務店が「商業・産業用途の建築物・空間」の部で応募し、人間、生活、産業、社会・環境の各視点からそのデザイン性が審査員から高く評価され、受賞企業に選ばれたものです。

竹中工務店が「Gマーク」で知られるグッドデザイン賞に日東工器新本社・研究所をエントリーしたのは、環境への配慮とコミュニケーションの活性化を実現した本社・研究所の複合施設というのが理由でした。当社が求めた「緑の中の新本社」のコンセプトの下、竹中工務店のデザイナーは様々な新基軸を打ち出し、良好なオフィス環境と年間約25%のエネルギー削減を両立させ、かつ周辺環境に溶け込むデザインを具現しました。

主催者の日本デザイン振興会は受賞理由について、「外部可動ルーバーは熱負荷の低減や周辺住宅への視線に配慮したもので、センスの良い外構植栽や屋上緑化とも併せ、とてもうまく出来ている。機能的には、吹き抜けを介して本社機能と研究機能をコンパクトに繋ぎ、空間の連続性と効率の良い自然換気を実現している」とコメントしています。



通販を活用し、モミーの販売好調

家庭用エアマッサージ器「モミー MM-1200」の売れ行きが好調です。当社のエアマッサージ器は、主として医療機関などプロ向けの高性能なラインアップとなっていますが、モミーは個人をターゲットに開発した製品です。本体は可愛らしいピンク色の球状のデザイン、操作もシンプルで心地よいマッサージが自宅で簡単にできるのが特徴になっています。

コンシューマー商品のため販売にも一工夫し、「学文社」、「いいもの王国」、「カタログハウス」の通信販売ルートを積極的に活用しています。この夏には、「カタログハウス」が毎年発行している『暮らしの道具 ピカイチ事典』の最新版(2011-12年版)に掲載されました。定評のある同誌の厳しい審査を通過し、選ばれたこと自体がモミーの信頼の証ともなっています。

購入層は70~80歳代が中心で、購入者アンケートでは「気持ちが良い」、「足が軽くなった」など多くの声が寄せられています。2010年10月からの累計販売台数は約4,000台(9月末時点)に達し、今後も売れ行きが伸びそうです。



■ 子会社紹介

NITTO KOHKI DEUTSCHLAND GMBH

ドイツを中心に広く欧州大陸全体をテリトリーとした営業活動を展開し、海外における日東工器グループ製品販売の一翼を担っています。1992年3月にNITTO KOHKI EUROPE（主として英国とアイルランド市場を担当）の子会社として設立され、ドイツ南西部の都市・シュツットガルトから南10数kmに活動拠点を置いています。

スタッフは、日東工器からの出向者2人を加えた総勢12人。業績も堅調に推移しており、昨今の取引量の増加に対応するため、今春には倉庫スペースを拡張しました。売上構成は、リニア製品、機工製品、カプラの順で、リニアの中でもとりわけ浄化槽用ブロワの売り上げが多くを占めています。また近年は、カプラと機工製品の販促活動にも力を入れています。

日東工器グループにとって、グローバル化する市場に対応し、海外売上高比率のアップを図ることが急務となっています。こうした経営環境に対応し、欧州大陸市場のさらなる深耕を目指しており、毎年、欧州各地で開催される展示会に積極的に参加しています。また、それと併行して地道な販売網の整備や販促活動の強化にも取り組んでいます。



■ グループ概況

大震災により栃木、白河、山形にある子会社は工場建屋・設備に被害を受けましたが、従業員が無事だったことが幸いして、4月以降はすべての工場が通常の生産体制に入ることができました。国内製造業の急ピッチの立ち直りによる需要の高まりにより、各子会社とも業績が堅調に回復しました。

その半面、10月に発生したタイの豪雨・洪水によりNITTO KOHKI (THAILAND)社、NITTO KOHKI COUPLING (THAILAND)社の生産設備の一部に被害が生じました。タイで生産してきたカプラ、コンプレッサについては栃木日東工器の生産に切り替えています。日東工器グループの今後の業績に及ぼす影響については現在精査中です。

子会社の売上高 (2011.4~2011.9)

(単位：百万円)

社 名		売上高
日 本	栃木日東工器株式会社	2,870
	白河日東工器株式会社	1,218
	株式会社メドテック	1,011
	メドー産業株式会社	1,262
米 国	NITTO KOHKI U.S.A., INC.	324
	MEDO U.S.A., INC.	428
欧 州	NITTO KOHKI EUROPE CO., LTD.	102
	NITTO KOHKI DEUTSCHLAND GMBH	368
	UNIVERSAL DRILLING & CUTTING EQUIPMENT LTD.	428
ア ジ ア ・ 豪 州	NITTO KOHKI (THAILAND) CO., LTD.	513
	NITTO KOHKI COUPLING (THAILAND) CO., LTD.	318
	日東工器-美進株式会社	240
	NITTO KOHKI AUSTRALIA PTY., LTD.	634
	NITTO KOHKI AUSTRALIA MFG. PTY., LTD.	125

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (2011年9月30日現在)	前 期 末 (2011年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 (2011年9月30日現在)	前 期 末 (2011年3月31日現在)
■資産の部■			■負債の部■		
流動資産	33,002	31,073	流動負債	5,424	4,768
現金及び預金	18,087	17,238	支払手形及び買掛金	3,116	1,948
受取手形及び売掛金	6,114	5,581	未払法人税等	666	1,115
たな卸資産	4,789	4,341	その他	1,641	1,704
その他	4,011	3,911	固定負債	2,306	2,229
固定資産	13,072	13,147	退職給付引当金	1,770	1,681
有形固定資産	10,769	10,858	その他	536	548
建物及び構築物	5,300	5,450	負債合計	7,731	6,998
土地	4,070	4,072	■純資産の部■		
その他	1,398	1,335	株主資本	39,282	38,231
無形固定資産	141	147	資本金	1,850	1,850
投資その他の資産	2,160	2,141	資本剰余金	1,925	1,925
投資有価証券	1,036	1,020	利益剰余金	36,422	35,371
その他	1,124	1,120	自己株式	△ 916	△ 916
			その他の包括利益累計額	△ 1,114	△ 1,172
			その他有価証券評価差額金	124	123
			為替換算調整勘定	△ 1,239	△ 1,296
			少数株主持分	175	163
			純資産合計	38,343	37,222
資産合計	46,074	44,220	負債純資産合計	46,074	44,220

(注1) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 本報告書は決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては、金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

連結損益計算書

(単位:百万円)

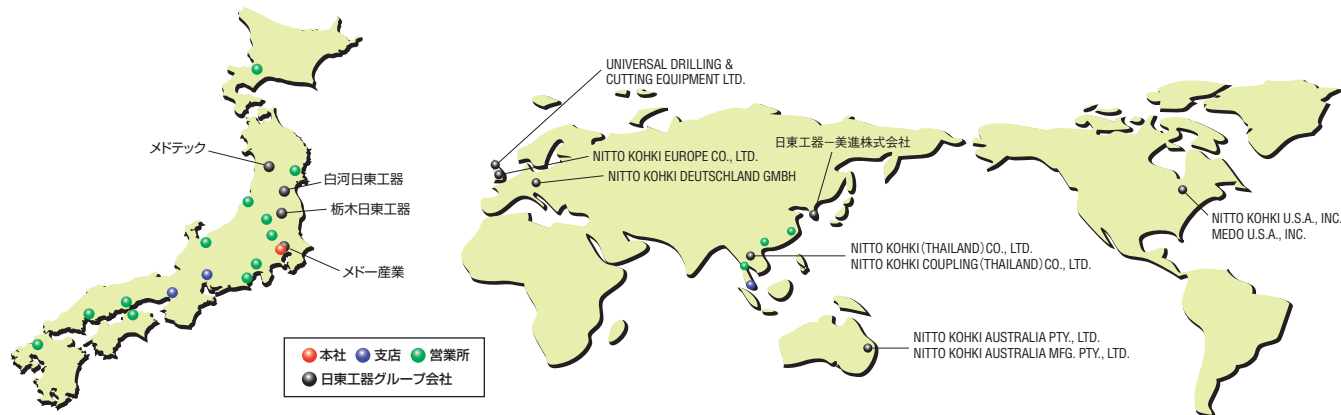
科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	(2011年4月1日~2011年9月30日)	(2010年4月1日~2010年9月30日)
売上高	12,417	10,988
売上原価	6,285	5,698
売上総利益	6,132	5,289
販売費及び一般管理費	4,016	3,951
営業利益	2,116	1,338
営業外収益	100	104
営業外費用	70	69
経常利益	2,145	1,373
特別利益	—	0
特別損失	19	141
税金等調整前四半期純利益	2,125	1,233
法人税、住民税及び事業税	718	397
少数株主利益	6	3
四半期純利益	1,401	822

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	(2011年4月1日~2011年9月30日)	(2010年4月1日~2010年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,536	1,391
税金等調整前四半期純利益	2,125	1,233
法人税等の支払額又は還付金(支払は△)	△ 1,179	126
仕入債務の増減額(減少は△)	1,162	201
その他	△ 572	△ 168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,892	1,164
定期預金の預入による支出	△ 14,864	△ 14,012
定期預金の払戻による収入	13,300	15,484
その他	△ 327	△ 307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 383	△ 233
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△ 169
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△ 724	2,153
現金及び現金同等物の期首残高	9,185	6,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,461	9,075

国内・海外ネットワーク



営業拠点

大阪支店	〒537-0001 大阪市東成区深江北2-10-10 TEL 06(6973)5501 FAX 06(6978)2125
名古屋支店	〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通1-3 TEL 052(861)1601 FAX 052(836)5681
札幌営業所	〒003-0005 札幌市白石区東札幌五条1-3-10 TEL 011(823)6346 FAX 011(831)3370
仙台営業所	〒984-0015 仙台市若林区卸町3-2-4 TEL 022(238)4711 FAX 022(238)4713
新潟営業所	〒950-0943 新潟市中央区女池神明2-7-5 TEL 025(285)6050 FAX 025(285)6053
北関東営業所	〒372-0054 群馬県伊勢崎市柳原町76-1 TEL 0270(25)1957 FAX 0270(25)1935
埼玉営業所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-215 TEL 048(662)5235 FAX 048(654)3385
静岡営業所	〒422-8042 静岡市駿河区石田3-11-34 TEL 054(288)5855 FAX 054(288)4170
三河営業所	〒444-0806 愛知県岡崎市緑丘3-8-7 TEL 0564(71)6750 FAX 0564(53)1668
北陸営業所	〒939-1104 富山県高岡市戸出町3-1-26 TEL 076(663)0155 FAX 076(663)6125
岡山営業所	〒700-0976 岡山市北区辰巳17-101 TEL 086(243)6850 FAX 086(243)6022
広島営業所	〒733-0012 広島市西区中広町1-6-12 TEL 082(231)2169 FAX 082(293)5547
高松営業所	〒760-0078 高松市今里町1-9-14 TEL 087(833)2020 FAX 087(861)0820
福岡営業所	〒812-0893 福岡市博多区那珂5-16-19 TEL 092(584)0801 FAX 092(584)0806
シンガポール支店	10 Ubi Crescent #01-62, Ubi Techpark Lobby D, Singapore 408564 TEL 65(6227)5360 FAX 65(6227)0192
事務所	松本・水戸・八王子・浜松・京滋・兵庫・熊本・ バンコク・上海・深圳
建築機器事業部	〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-40-3 TEL 03(5850)5781 FAX 03(3801)6001

日東工器グループ会社

栃木日東工器株式会社 (氏家工場)	〒329-1311 栃木県さくら市氏家3473-2
白河日東工器株式会社 (白河工場)	〒961-0017 福島県白河市双石横峯12
株式会社メドテック (山形工場)	〒990-2453 山形県山形市若宮1-1-36
メド産業株式会社	〒146-0081 東京都大田区仲池上2-9-4
NITTO KOHKI U.S.A., INC. MEDO U.S.A., INC.	4525 Turnberry Dr., Hanover Park, Illinois 60133, U.S.A. 4525 Turnberry Dr., Hanover Park, Illinois 60133, U.S.A.
NITTO KOHKI EUROPE CO., LTD.	Unit21, The Empire Centre, Imperial Way, Watford Herts, WD24 4TS, United Kingdom
NITTO KOHKI DEUTSCHLAND GMBH	Lerchenstresse 47, D-71144 Steinenbronn, Germany
UNIVERSAL DRILLING & CUTTING EQUIPMENT LTD.	43 Catley Road, Darnall, Sheffield S9 5JF, United Kingdom
日東工器-美進株式会社	53-1 Jeil-Ri, Yangji-Myun, Cheoin-Gu, Yongin-City, Kyonggi-Do, The Republic of Korea
NITTO KOHKI (THAILAND) CO., LTD.	64 Moo 9 Rojana Industrial Park, Rojana Road, Thanu Sub-district, U-thai District, Ayutthaya 13210, Thailand
NITTO KOHKI COUPLING (THAILAND) CO., LTD.	64/1 Moo 9 Rojana Industrial Park, Rojana Road, Thanu Sub-district, U-thai District, Ayutthaya 13210, Thailand
NITTO KOHKI AUSTRALIA PTY., LTD.	77 Brandl Street, Eight Mile Plains, Queensland 4113, Australia
NITTO KOHKI AUSTRALIA MFG. PTY., LTD.	77 Brandl Street, Eight Mile Plains, Queensland 4113, Australia

会社概要 (2011年9月30日現在)

商 号 日東工器株式会社
 本社/研究所 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
 設 立 1956年10月22日
 資 本 金 1,850,324,250円
 従 業 員 単体397名/連結977名
 事 業 内 容 ① 迅速流体継手「カブラ」の製造・販売
 ② 省力化機械工具の製造・販売
 ③ リニア駆動ポンプとその応用製品の製造・販売
 ④ 建築機器(ドアクローザ)の製造・販売

役 員 (2011年9月30日現在)

代表取締役会長 御器谷 俊雄
 代表取締役社長 小 武 尚之
 取締役副会長 市川 光夫
 常務取締役 近藤 朋士
 取 締 役 西田 豊
 取 締 役 中川 康生
 取 締 役 高田 洋子
 常勤監査役 鷲尾 俊一
 監 査 役 辻 輝彦
 監 査 役 加々美 博久

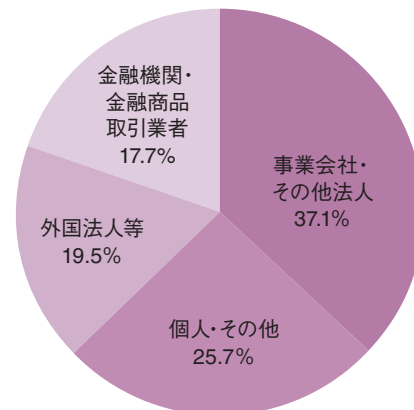
株式の状況 (2011年9月30日現在)

1 発行可能株式総数 51,958,200株
 2 発行済株式総数 21,803,295株
 3 株主数 7,336名(前期末比 595名減)
 4 大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社日器	6,624	31.2
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	3,364	15.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社株式リテール信託口	1,284	6.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	762	3.6
御器谷 俊雄	647	3.1
高田 洋子	646	3.0
御器谷 春子	644	3.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	596	2.8
有限会社ミキヤコーポレーション	565	2.7
有限会社ミキヤエンタープライズ	415	2.0

注) 持株数は切り捨て、議決権比率は四捨五入。
 自己株式554千株は上記大株主から除外。

《所有株数別株主分布状況》



事業年度 ————— 4月1日から翌年3月31日
期末配当受領株主確定日 ——— 3月31日
中間配当受領株主確定日 ——— 9月30日
定時株主総会 ————— 6月
株主名簿管理人 ————— 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 ————— 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
上場証券取引所 ————— 東京証券取引所 市場第一部
証券コード 6151
単元株式数 ————— 100株
公告掲載方法 ————— 日本経済新聞

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本社 / 〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
TEL 03(3755)1111 FAX03(5700)7192

ホームページ <http://www.nitto-kohki.co.jp>